

電子くじでの落札者決定方法

開札の結果、落札となるべき金額の入札が複数あった場合、入札参加者が入札書提出時にあらかじめ入力した3桁の「くじ入力番号」により、落札者を決定します。

1 電子くじでの落札者決定方法

- ① 入札書提出時に任意の3桁の「くじ入力番号」を入力します。
(紙入札業者も入札書にくじ番号を記載することになります。)
- ② 開札の結果、落札となるべき金額の入札が複数あった場合、入札書到着順に、0, 1, 2・・・と同札者に順番をつけます。
- ③ 同札者の「くじ入力番号」をすべて加算し、同札者数で除算し、余りの数字に一致する順番の者が落札者となります。

2 落札者となるべき金額の入札が4者の場合の例

くじ番号の合計 $777 + 888 + 566 + 000 + 111 = 2342$

$2342 \div 5 = 468$ 余り2

| 番号 | 業者名称 | くじ入力 番号 (a) | 乱数 (b) | くじ番号 (a+b)* | 入札書 提出日時 | 応札 順序 | 結果 |
|----|------|-------------------|-----------|----------------|---------------|----------|-----|
| 1 | A業者 | 777 | 000 | 777 | H25.3.8 10:22 | 1 | |
| 2 | B業者 | 888 | 000 | 888 | H25.3.8 10:46 | 4 | |
| 3 | C業者 | 566 | 000 | 566 | H25.3.8 10:45 | 3 | |
| 4 | D業者 | 000 | 000 | 000 | H25.3.8 10:20 | 0 | |
| 5 | E業者 | 111 | 000 | 111 | H25.3.8 10:31 | 2 | 落札者 |

*くじ入力番号(a)に乱数(b)を加算した下3桁がくじ番号となります。

上記の場合は、同札者の「くじ入力番号」をすべて加算し同札者数で除算した余りの数字が2となるため、応札順序2の「E業者」が落札者となります。